



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Te l 047-322-5644

F a x 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

2021年12月号

芸術鑑賞教室 「虹色サンゴ」

～ 命の大切さ、環境問題 … 考えさせられました ～

11月15日、低学年、高学年別に、寿光殿において劇団「夢団」による芸術鑑賞教室が開かれました。演目は、ミュージカル「虹色サンゴ」で、笑いあり、涙ありの、子供たちにとってとても有意義な時間を過ごせたようです。

舞台装置の鮮やかさも手伝い、魚たちを演ずる俳優さんたちの歌唱力、表現力等に子供たちは驚いていました。画面を通した映像と違い、本物を舞台鑑賞するという心への響きが違うと感じました。

両親を人の手で捕獲されてしまった魚の「サンゴ」と、汚染の影響で片方のひれが動かない「ポリー」が、幾多の困難を乗り越え前向きに生きていくという物語です。

「命の大切さ」「環境問題」等、様々なテーマが流れており、今生きていることをありがたく思う機会を得たと思える作品でした。



12月行事予定

- 3日 仏教朝礼（放送）
- 6日 朝会（放送）
- 7日 クラブ
- 9日 短縮日課開
5, 6年委員会活動
- 11日 休業日
- 15日 自宅学習（成績会議）
- 18日 3時間目清掃活動
- 20日 懺悔会 終業式
- 21日 5年ウィンタースクール
- 25日 合唱部 合唱交流会
- ※ 3学期始業式 1月7日（金）

消防署見学

～市民の命を守る 大変な仕事～

11月22日、3年生は、市川東消防署の見学で、市民の命や財産を守るために、日常からたくさんの訓練を行い、いざという時に備えていること、最新の機器を導入して対応していることなどたくさんのことを学びました。子供たちからは、「いつも私たちの命を守ってくださり、ありがとうございます。」という感想が多数ありました。



秋まつり集会

11月6日、児童会主催で「秋まつり集会」を行いました。ここでは、方面別の縦割りグループでの活動となりましたが、各グループとも低学年と高学年が協力し合いながら楽しみました。

内容は、工作、〇×クイズ、リズムしりとり、外遊びなどですが、じゃんけん大会は、当日がグループ内で予選、決勝が18日でした。最後まで負けることなくじゃんけんクイーンとなったのは、5年生の畠山柚衣子さんでした。おめでとうございます。

児童会のみなさん、楽しい会の企画、ありがとうございました。

キツザニア東京

11月17日、5年生は「キツザニア東京」に行ってきました。コロナ感染に十分気を付けながら、様々な職業のおもしろさ、難しさ、大変さなどをスタッフから丁寧に説明を受け、職業体験をしました。

医療関係、食品関係、警察官、消防士、配送関係、通信関係、家電関係、出版関係他たくさんの体験コーナーがあり、子供たちは、自分の将来を考えながら楽しんでいました。



今月の目標

「新型コロナウイルスに感染しないように、健康に気をつけましょう」
「進んで仕事をし、後始末をしっかりやりましょう」

塵を捨てる

「塵」は、ごみ、けがれ、よごれのことです。ちりを捨てることから、身の回りのすべてをきれいにします。ところが、部屋でも庭でもお掃除をしてくれいになったかと思うと、またすぐに汚れてしまいます。

「掃けば散り 払えばまたも ちりつもる 人の心も庭の落ち葉も」

この古い歌にも、ちりや汚れの絶えるときの嘆きが、よく込められています。

「掃けば散り」に塵が「ちりつもる」に「塵も積もれば山となる」のことわざが掛け言葉になっています。この言葉は、善かれ悪しかれ、わずかなものも、積もり重なれば高大なものになるとの例えによく使われます。掃いても拭いても、よごれ散らかる庭や廊下をいつもきれいに見せるには、常に掃除を続けるしかありません。私たちの心もまた同じです。

永遠に掃除を続ければ、今、ここは常に美しいままです。



ちょっとうれしい話

～ 縦割り活動生きる～

電車で通学する児童が車内で体調不良となったときに、6年生の児童2名が、駅員さんと協力し看護してくれましたということで駅から連絡がありました。

過日の避難訓練の折に、災害等万が一の場合には、縦割りグループ内はもとより、小学部の児童や困っている方を見かけたら、できる範囲で協力しましょうという話をしたのですが、躊躇することなく助けられたことは、学んだことを実践できる心の優しさ、強さの表れだと思います。

大変素晴らしい行動を嬉しく思います。

